

平成30年度 一人一人の確かな学力のために 4年

		学年の目標	2学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の学年末テストで90点以上を合格として、8割以上の児童が合格できることを目指します。そのために、ミニテストを週1～2回程度実施します。</li> <li>学習して身に付けた読み書きの力を生活に生かせるようにするとともに、日常的に書く力を高めるために、日記を書く活動を週に1回行います。そして、「既習の漢字を使って書くこと」「主語・述語の関係が成り立っている文を書くこと」を重点的に指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字ミニテストを定期的実施し、平均点は約80点でした。学年末の50問テストでは約半数が90点以上で合格し、再テストで約9割が合格しました。</li> <li>日記を週に1回継続し、書いていますが、提出率は約8割でした。主語・述語の関係が成り立っている児童は多いですが、誤字脱字や既習の漢字を平仮名で書く児童が少なくありません。今後は、自分で書いた文章を読み返したり、国語辞典を使って既習漢字を調べたりすることを指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週に1～2回程度実施した漢字ミニテストでは、3学期は平均点が約85点でした。学年末テストを2月25日の週に実施し、90点以上の点数を目指します。</li> <li>日記を書く中で、文章作成に対して意欲的な児童が増えました。しかし、2学期末同様、既習の漢字を平仮名で書く児童は漢字をあまり使わずに書く傾向がありました。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算ドリルをくり返し活用して、既習事項の定着を図ります。必ず答え合わせを行って間違いを直す習慣を付けられるようにします。</li> <li>補習タイムの時間には東京ベーシックドリルを活用して、3年生までの基礎的な学習内容の習得を目指します。東京ベーシック診断テストにおいて、9割の児童が80点以上獲得できることを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習を中心に計算ドリルに取り組みました。授業の初めに実施状況を確認しました。コースによって提出率に差がありました。忘れずに取り組めるよう引き続き指導します。</li> <li>東京ベーシックドリルを補習タイムに活用し、既習学習の復習を行いました。3年生までの基礎的な学習内容の平均点は75.7点で、得点が80点以上の児童は、全体の約5割です。今後も、ベーシックドリルや診断テストなどを活用して基礎計算の復習をし、9割の児童が80点以上獲得できるように指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の授業での宿題を必ず提出できた児童はコースによって差はありますが、学年全体では約半数にとどまっています。</li> <li>補習タイムでは3学期前半は、診断テストBで習得率が低かった単元の東京ベーシックドリルを行い、後半は4年生の学習内容を計算ドリルを活用して復習しました。診断テストCを今後行い、9割の児童が80点以上獲得できることを目指します。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的な事象についての知識を身に付けさせるために、都道府県の位置や名前を覚えらるよう、カルタやパズルを用いて日常的に習熟していきます。また、地方ごとの白地図を用いたミニテストを実施していきます。学年末までに90%以上の定着を図ります。</li> <li>自然事象についての興味・関心を高め、知識を身に付けさせるために、ゲストティーチャーを招いて、篠崎公園にて年間4回校外学習を行います。</li> <li>学校図書館を活用して、週1回程度図書の貸し出しを行い、読書に慣れ親しませます。普段から、すぐに本を取り出し活用することができる環境を整えとともに、「読書ちよきん箱」に読んだページ数を記録させ、年間7000ページを目標に読書量の伸びが励みになるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県テストで約4割の児童が90点以上を取ることができました。インターネットの都道府県クイズなどを活用し、9割以上の定着を目指して指導を続けます。</li> <li>ゲストティーチャーを招き、春、夏、秋、秋の終わりの計4回篠崎公園での校外学習を行い、自然の移り変わりに気付いたり、公園の植物の名前を覚えたりする児童が増えました。冬も行い、計5回行います。</li> <li>読書科の学習を通して、本を使って調べ、まとめることも行いました。時間を見つけて読書に慣れ親しんでいる児童が多く見られます。今後も「読書ちよきん箱」に記録をするよう指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都道府県の位置や名前を覚える取り組みは、日常的に行うまではできませんでしたが、学年末に向けて増やしていきます。90%以上の定着になるよう、プリントやクイズを活用しています。</li> <li>理科の自然観察は、篠崎公園での校外学習を計5回行うことができ、自然事象についての関心が高まった児童が増えました。実験・観察にも意欲的に取り組んでいます。</li> <li>朝読書の時間は、静かに読書に親しんだり、読書科の活動を行ったりしてきました。年間7000ページの目標に到達した児童は約1割ですが、あと少しの児童もいます。</li> </ul>
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>【問題解決的な学習】</li> <li>学習課題に対して、予想を立てて追求していく学習方法が身に付けられるよう、学習のめあてや課題をもち、ふり返るといった活動を継続的に行います。また、考えたことを自分の言葉で表現することを積み重ねます。</li> <li>自分の考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、小グループでの話し合い活動を積極的に取り入れ、自分の考えたことを伝え合うように指導します。また、調べたことなどをグラフや表、新聞に表す学習などを多く取り入れ、情報や自分の考えを表現する力を高められるように指導していきます。</li> <li>【ノート指導】</li> <li>問題解決の筋道がわかるノート作りが行えるように指導していきます。ノートを定期的に評価して、モデルとなるノートを提示していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【問題解決的な学習】</li> <li>問題解決型の授業を、算数や理科、社会などで展開しました。しかし、自分の考えをもつことができない児童や、考えを上手にまとめられない児童も見られます。友達の表現の仕方を参考にして学ぶことができるよう指導を続けます。</li> <li>様々な教科で小グループでの話し合い活動を行いました。国語の「学級新聞」や社会の「消防署見学新聞」などで、グラフや表を作る児童も多く見られました。</li> <li>【ノート指導】</li> <li>モデルとなるノートを児童に紹介し、自分で工夫して分かりやすいノートを作る児童が増えてきました。字を丁寧に書くよう、引き続き指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に対して、自分の予想を積極的に考えて書くことができる児童は8割ほどです。しかし、振り返る際に自分の学習について具体的に考えを書く児童は5割ほどにとどまっています。引き続き指導していきます。</li> <li>小グループでの活動では、自分の考えを積極的に伝え合う姿が多く見られ、意見を伝えることができる児童は8割ほどになりました。国語でのポスターセッションや、社会の学習のまとめでは、グラフや表・写真などを使って上手にまとめられる児童が増えました。</li> <li>分かりやすいノートを書くことと取り組む児童が増えたものの、板書したものを写すだけだったり、字が雑だったりする児童もいます。意識の改善を目指しています。</li> </ul>	

<p>学習習慣・学習規律</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業が始まってから、短時間で集中できるようにするために、毎時間、学習のめあてや課題をノートに書かせ、声に出して読むことを指導し、習慣化できるようにしていきます。</li> <li>・話すこと・聞くことの大切さを意識化させるために、聞いている人の方を向いて話すこと、相手の話を受けて話すこと、話している人の方を向いて聞いたりメモを取りながら聞いたりすることを指導していきます。</li> <li>・既習事項の定着を図るために、宿題提出率100%を目指し、自主学習に進んで取り組めるようにします。そのために、普段から自主学習を行う機会を設定し、よく取り組めている児童のノートを紹介して、段階的に自主学習の取り組み方やその内容を指導していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の初めにめあてをノートに書き、声を出して読むことで学習の見通しがもてるように指導しました。振り返りの時間が取れないことがあるので、今後は時間を設けられるよう指導します。</li> <li>・話を聞くときに、聞いている人の方を向いて聞ける児童もいますが、多いとは言えません。引き続き指導していきます。</li> <li>・宿題提出率は85%程度です。今後も、提出状況を確認し本人に伝え、提出率100%を目指して指導を続けます。自主学習は毎日行い、テストに向けた学習や、興味のある分野の調べ学習などに取り組む児童が増えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間のめあてを書き、課題を理解することは習慣化できました。振り返りも、毎時間ではないものの、単元末には必ず行うようにしてきました。</li> <li>・理科の自然観察の時には、講師の先生の話聞きながらメモをする児童がほとんどです。授業中にVTRを活用した際にも、積極的にメモを取る児童が多くなりました。話を聞くときの姿勢も良くなりましたが、引き続き指導します。</li> <li>・宿題の提出率は85%程度でした。提出状況を確認したり、本人に伝えたりしてきましたが、向上が見られなかった児童もいました。自主学習は、自分で決めた学習量で継続して行う児童が増えましたが、量が少ないと思われる児童も2割程いました。</li> </ul>
------------------	---	---	--